

第5回ローカルサミット in 阿久根 開催企画書

2012.06.11

【キーテーマ・キーコンセプト】

原発に依存してきた暮らしからの脱却

～未来のいのちに引継ぐ社会の姿をローカルからデザインする！～

原発の隣町からの日本・アジアへのメッセージ

【開催趣旨】

2011年3月11日の東日本大震災は、地震と津波によって甚大なる犠牲者のいのちを奪うとともに、原発事故によって、この国（土）に生き残った私たちへ、大きな問いをつきつけました。

そして、半年後に富山県南砺市において開催された「第4回ローカルサミット」では、従来からの成長・効率のグローバリズムの延長線上に確かな未来は無く、ローカルからの、人と人、人と自然、生者と死者、更には人と技術、との確かな関係を取り戻す「いのちの紡ぎ直し」による「地域の自立と連携」をテーマに議論がなされ、原発に象徴される大都市中心の巨大システムに対してローカルからの日本再生プランがメッセージとして発せられました。それは「目に見える関係性」を外に開きながら共有していくコミュニティの再構築といのち巡る「小さな循環」の形成と連携という方向性を明らかにしたものです。

と同時に人智の及ばぬ形で永遠にいのちの価値を捨て去ろうとする原発問題へのきちんとした覚悟を持って対峙する必要性も共有しました。

その後、そうしたローカルサミット宣言の趣旨を受けて、再生可能エネルギーを機軸にしたグローバルマネーに翻弄されてはならない「いのち」の4分野（農林漁業、環境保全、健康医療・介護福祉、教育）の循環を実現するエコビレッジ構想の具体化を図る動きが行政・志民ベースで全国に広がり始める（2012年1月「エコビレッジフォーラム」の設立）とともに、地域の中小企業経営者の間からも原発が無い方が健全な国・地域づくりが出来る対案を示していくべきとの声に基づく全国におよぶネットワークが形成され（2012年3月「エネルギーから経済を考える経営者ネットワーク会議」の発足）、志民ベースでの原発に依存しない新たな暮らし方をローカルから紡ぎだそうとする着実なうねりが広範化してきています。

今回の開催地である阿久根市は、わずか2年半あまりの間に3度の市長選と2度の市議選を繰り返し、日本中から注目された地方自治混乱の舞台となった小さな田舎町です。その混乱に終止符を打ち、新しい一步を踏み出す原動力となったのは若い世代の熱い思い

と行動力でした。そして、それを支えてくれた多くの市民のつながりを生んだのは女性たちでした。その意味で、若者と女性が未来を切り拓く原動力となりました。

そして、その主人公となった市民ひとり一人は、自分たちの暮らすまちづくりについて行政任せから脱却し、市民から志民へと自立するために、全国各地のローカル志民と交流し連携することでいろんなことを吸収して阿久根の再生をめざしています。

また同時に、九州電力川内原子力発電所の隣町に位置する状況の中で、自分たちの喫緊の問題としても原発依存からどう脱却し、原発のないローカルでの自立した暮らし方の具体化を急ぐ必要性を痛切に認識しています。

こうした中で、開催される今回の第5回ローカルサミットでは、全国各地の幅広い志民・行政間の交流を通して、過去4回に及ぶ幅広い議論を踏まえてひとつひとつの運動体が強い絆で結ばれたネットワークの形成へと具現化し、この阿久根から3.11以降の東北の復興を加速させ、「原発依存してきた暮らしからの脱却ー未来のいのちへ引き継ぐ社会の姿をローカルからデザイン」し、日本社会全体の再生の姿を明確にする機会にしたいと強く考えております。こうした変革に向けての覚悟と実践への迅速な一歩が、世界的にみても、我が国に今強く求められていることを痛感しております。

3.11という甚大なる犠牲を払いながら、我が国が背負った歴史の転換点という現実課題を共に背負い、未来に向けていのちを繋ぐ者として、ここ阿久根に集い、ローカルからの日本再生に向けた力強いうねりを国内外に向けて力強く発信したいと願っています。

【スケジュール】

●第1日目：9月15日（土）

17：00 受付

17：30 オープニングレセプション

吉澤保幸事務総長挨拶、川原慎一実行委員長開催宣言

17：40 安田喜憲先生基調講演

18：30 西平良将阿久根市長歓迎の辞、乾杯（懇親会）

20：30 中締め、2次会へ

●第2日目：9月16日（日）

09：00 フィールドスタディ（各コースに別れて昼食まで）

13：30 分科会

①東日本大震災が問いかけたもの：東北からのメッセージ（復興の課題）

②農林漁業の再生の道：森里海連環からの具体的構想

- ③小さな循環の具体化：エコビレッジ構想の具体化
- ④原発に依存しないライフスタイルと経済・金融：エネ経会議との連携
- ⑤アジアとの連携の形：九州からのアジア連携のポイント
- ⑥新しいまつりごとの形：阿久根の教訓等からの学び
- ⑦世代の上手なつなぎ方：90歳ヒアリングや阿久根の知恵を活かそう！

19：00 ほい、そい、のまんけ、くわんけ交流会

●第3日目：9月17日（月・祝）

- 09：00 全体会・分科会まとめ
- 10：00 首長サミット
- 12：30 ローカルサミット宣言、次回開催地発表
- 13：00 昼食・解散

【参加費】 18,000円（3日間） ※部分参加については別途

【その他】

●参加申し込みには下記の事項を記入の上、事務局までご提出下さい。

- ①氏名 ②ふりがな ③性別 ④所属団体・勤務先
- ⑤電話（携帯） ⑥郵便番号・住所 ⑦E-MAIL
- ⑧宿泊（15日・16日）ならびに喫煙・禁煙（あるいは前泊・後泊）
- ⑨利用交通機関（航空機・電車・自家用車）
- ⑩ローカルサミット参加履歴（第1回～4回）
- ⑪参加日程
（オープニングレセプション・フィールドスタディ・分科会・交流会・全体会）

●宿泊については、実行委員会事務局にて取りまとめて割り振らせていただきます。

シングルには限りがありますので、ご希望の方はお早めどうぞ！

1泊朝食付6,000円以下の設定です。

●当日は、阿久根市において「伊勢エビまつり」が開催中です。市内飲食店でさまざまな伊勢エビ料理が楽しめます。15日または17日の昼食でご希望の方はオプションでお申し込み下さい。

●交通アクセスについては、次ページをご参照ください。

今回の開催日 9 月 15 日～ 17 日の航空便は、3 連休のため予約が集中し、全体的に割高になっています。早めのご予約をお願いします！

●西日本地域から

○新幹線・出水駅着 15：19（さくら 413 号・博多駅 14：09 発）まで

※出水駅から車で 30 分、肥薩おれんじ鉄道でも 30 分ほどかかります。

●東日本地域から

鹿児島空港おおむね 14：00 頃着の便まで

ANA621	羽田 08：55 → 10：40	鹿児島	28 日前 ¥ 26,570	発売中
ANA623	羽田 11：40 → 13：25	鹿児島	往復（片道分） ¥ 36,770	早割売り切れ
JAL1865	羽田 10：15 → 11：55	鹿児島	28 日前 ¥ 17,980	発売中
JAL1867	羽田 12：30 → 14：10	鹿児島	28 日前 ¥ 17,980	発売中
SNA075	羽田 09：05 → 11：00	鹿児島	21 日前 ¥ 13,800	7/15 発売予定

※鹿児島空港からリムジンバスで約 2 時間、自家用車で 90 分ほどかかります。

福岡空港おおむね 13：30 頃着の便まで（空港－博多駅は地下鉄 5 分・上記新幹線利用）

SFJ043	羽田 09：10 → 11：00	福岡	28 日前 ¥ 15,170	7/15 発売予定
SNA009	羽田 11：15 → 13：10	福岡	WEB 割 ¥ 17,800	7/15 発売予定
JAL313	羽田 11：30 → 13：15	福岡	28 日前 ¥ 23,170	発売中
ANA251	羽田 11：30 → 13：15	福岡	28 日前 ¥ 21,370	発売中

※羽田 - 福岡便は上記以前の時間は多数あります。博多で時間調整されても良いかも知れません。

※時刻・運賃は 6/10 現在のものです。正確には各航空会社へご確認下さい。

●下記時刻に実行委員会が宿泊先（阿久根市内）行きの貸切バスを手配します。他の時間については、公共交通機関等をご利用下さい。

① 鹿児島空港 14：30 発 所要時間 90 分

② JR 出水駅 15：30 発 所要時間 30 分

●復路については、さらに混雑が予想されます。早めのチケット予約をお願いします。

①鹿児島空港へむけては、会場近くより 13：57 から 1 時間おきにリムジンバスがでます（所要時間 120 分）。航空便は 17：00 以降をご予約下さい。

②新幹線は出水駅 15：26 発（さくら 562 新大阪行き）以降の列車をご予約下さい。阿久根駅より肥薩おれんじ鉄道で接続いたします。